

第38回技術者交流フォーラム事業は、日本技術士会北海道本部・室蘭開発建設部及び寒地土木研究所の3者が共同で、地域において求められる技術開発や北海道総合開発計画の推進に資する技術開発等に関する情報交換、産学官の技術者交流及び連携を図る目的で今回、苫小牧市において開催します。

今回のフォーラムは、「自然災害に強い地域づくり」と題し、胆振・日高地域の地震・津波に対する課題や取組事例を紹介していただき、技術者相互の連携や技術の普及を図ります。

《 基 調 講 演 》

13:35~14:35



巨大津波から地域を守るために ～胆振・日高地域における津波対策の現状と課題～

室蘭工業大学 大学院工学研究科 教授 木村 克俊 氏

【略歴】 昭和57年 北海道大学工学部土木工学科卒業
平成12年 室蘭工業大学 助教授
平成19年 室蘭工業大学 教授 (現在に至る)

過去の津波被害を振り返るとともに、想定される巨大津波から地域を守るための備えのあり方を示した上で、胆振・日高地域における津波対策の現状を踏まえた将来の課題を整理します。

《 一 般 講 演 》

14:45~16:55

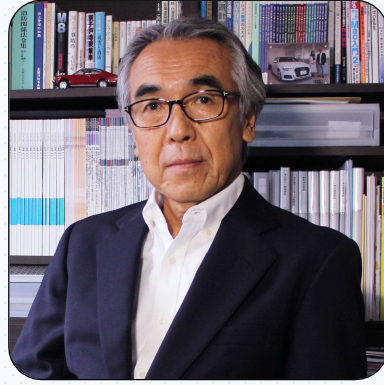


➤14:45~

「胆振・日高地方に おける地震・津波と 情報について」

室蘭地方気象台
地震津波防災官
松島 功 氏

胆振・日高地方で影響のあった地震・津波被災事例と気象庁が発表する地震・津波情報について紹介します。



➤15:15~

「防災支援に向けた 取り組みについて」

公益社団法人
日本技術士会
北海道本部
防災委員会 委員長
城戸 寛

産学官民連携による科学技術を活かした防災支援の社会実装を目指す、日本技術士会北海道本部防災委員会の活動を紹介します。

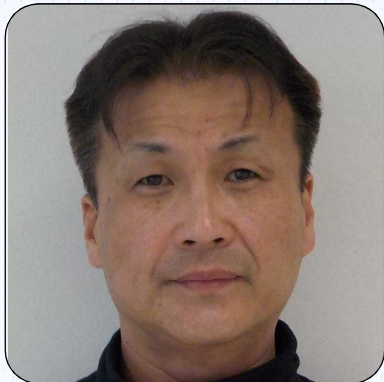


➤15:55~

「津波を考慮した 日高自動車道の 整備について」

北海道開発局
室蘭開発建設部
次 長
堀田 伸之

太平洋沿岸に沿って建設される日高自動車道は津波災害に対する対策が必須となっており、その整備状況について報告します。



➤16:25~

「積雪寒冷地特有の 津波災害の想定と 防災・減災の課題に ついて」

寒地土木研究所
寒冷沿岸域チーム
主任研究員
木岡 信治

沿岸の海水等の漂流物により、津波被害が拡大する可能性がある。今回、過去の事例やシミュレーションにより、津波防災の課題を報告します。

参加者の皆様へお願い

新型コロナウイルス感染の予防、拡散防止にあたり、ご来場の皆様には下記項目にご協力をお願い申し上げます。

- ・原則、事前申し込みをされた方への参加とさせていただきます。
 - また、申し込み時のQRコードをスマートフォン画面もしくは印刷でご持参願います。
 - ・37.5℃以上の発熱、咳の症状がある等、当日の体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えください。
 - ・場内はマスクの着用をお願いいたします。
 - ・会場内に消毒液を設置し、入場時に検温を実施いたします。こまめな手洗い、手指消毒にご協力ください。
 - ・ソーシャルディスタンス確保のため、会場内の座席制限を行います。
 - ・接触確認アプリ(COCOA)のインストールをお願いいたします。
- (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

本フォーラムは、下記プログラムに認定されています。



(公社)土木学会 継続教育(CPD)プログラム

認定番号: JSCE21-1112
認定単位: 3.0単位

CPDS
671530
3 unit

(一社)全国土木施工管理技士会
連合継続学習制度(CPDS)プログラム